

【公園管理棟編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	ふれあい公園管理棟			
-----	-----------	--	--	--

大分類	公園	中分類	公園	施設番号	158
-----	----	-----	----	------	-----

所管部課	都市整備課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	中の沢266番地2外 (東部)	敷地面積	13,813 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和61年度
建物構造	W	延床面積	112 m ²	経過年数	32年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	36,960千円	法定耐用年数	15年	市民1人当たり更新コスト	629円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	人	-人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	351
		国費	-		-		火災保険料	-
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	404		-		工事請負費	-
	合 計		404		-	その他維持費	-	
						小 計	351	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	53
			運営委託料	-				
			その他運営費	-				
				小 計	53			
				合 計(①+②)	404			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		7円/人		3,607円/m ²			

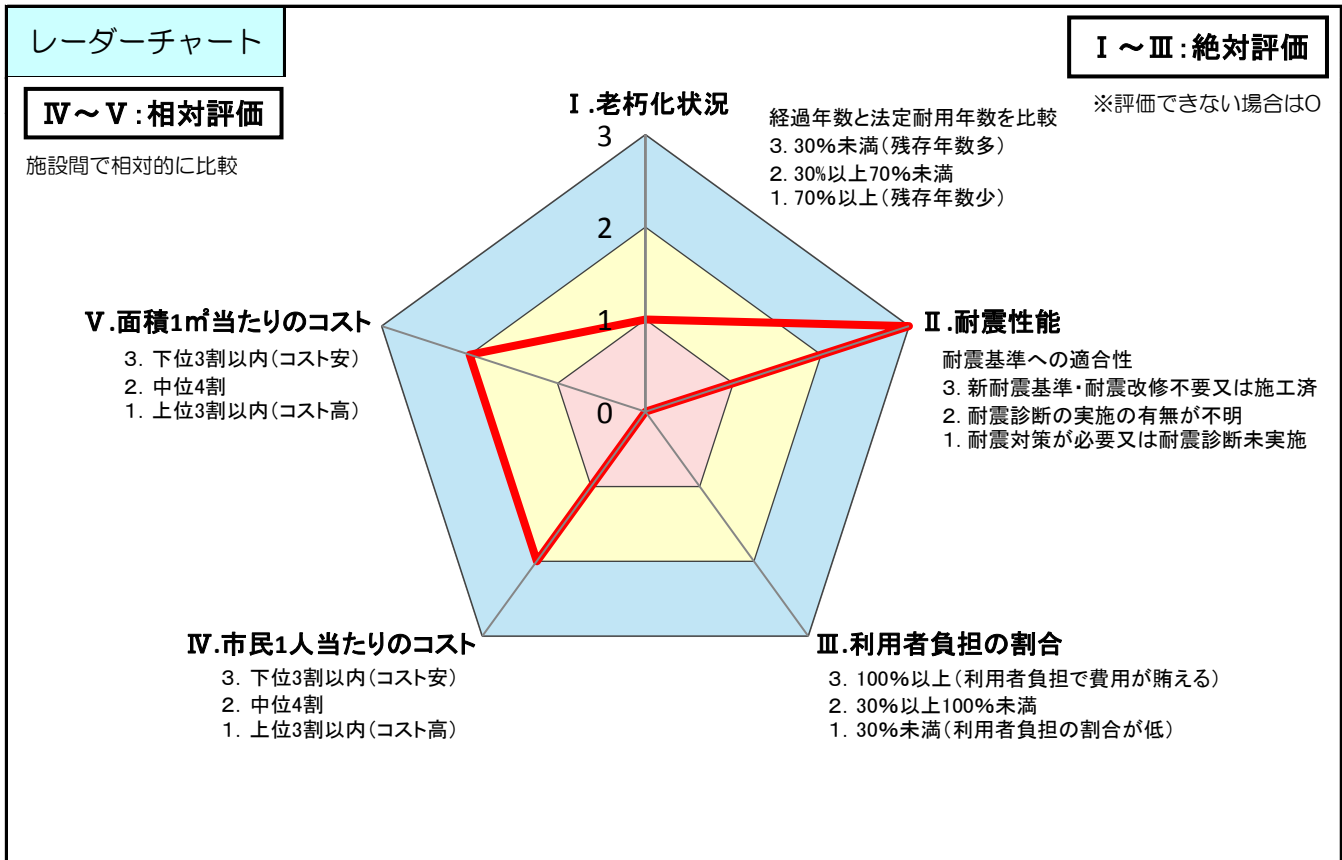
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H22	シャッター鍵交換	29			
H28	給水水抜栓修繕	9			
H29	外壁修繕・塗装	351			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>213 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>7 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>3,607 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	きたひろサンパーク管理棟				
-----	--------------	--	--	--	--

大分類	公園	中分類	公園	施設番号	159
-----	----	-----	----	------	-----

所管部課	都市整備課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	富ヶ岡237番地1外 (東部)	敷地面積	128,528 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成10年度
建物構造	W	延床面積	175 m ²	経過年数	20年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	57,750千円	法定耐用年数	15年	市民1人当たり更新コスト	983円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	16,040人	15,479人	人	15,760人	指定管理者		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-			火災保険料	-
		道費	-			維持管理委託料	-
		その他	-			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	14,472			工事請負費	-
	合 計		14,472		②施設運営コスト	その他維持費	-
					小 計	-	
					②施設運営コスト	人件費	-
					光熱水費	-	
			運営委託料	14,472			
			その他運営費	-			
			小 計	14,472			
			合 計(①+②)	14,472			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	918円/人		246円/人		82,697円/m ²		



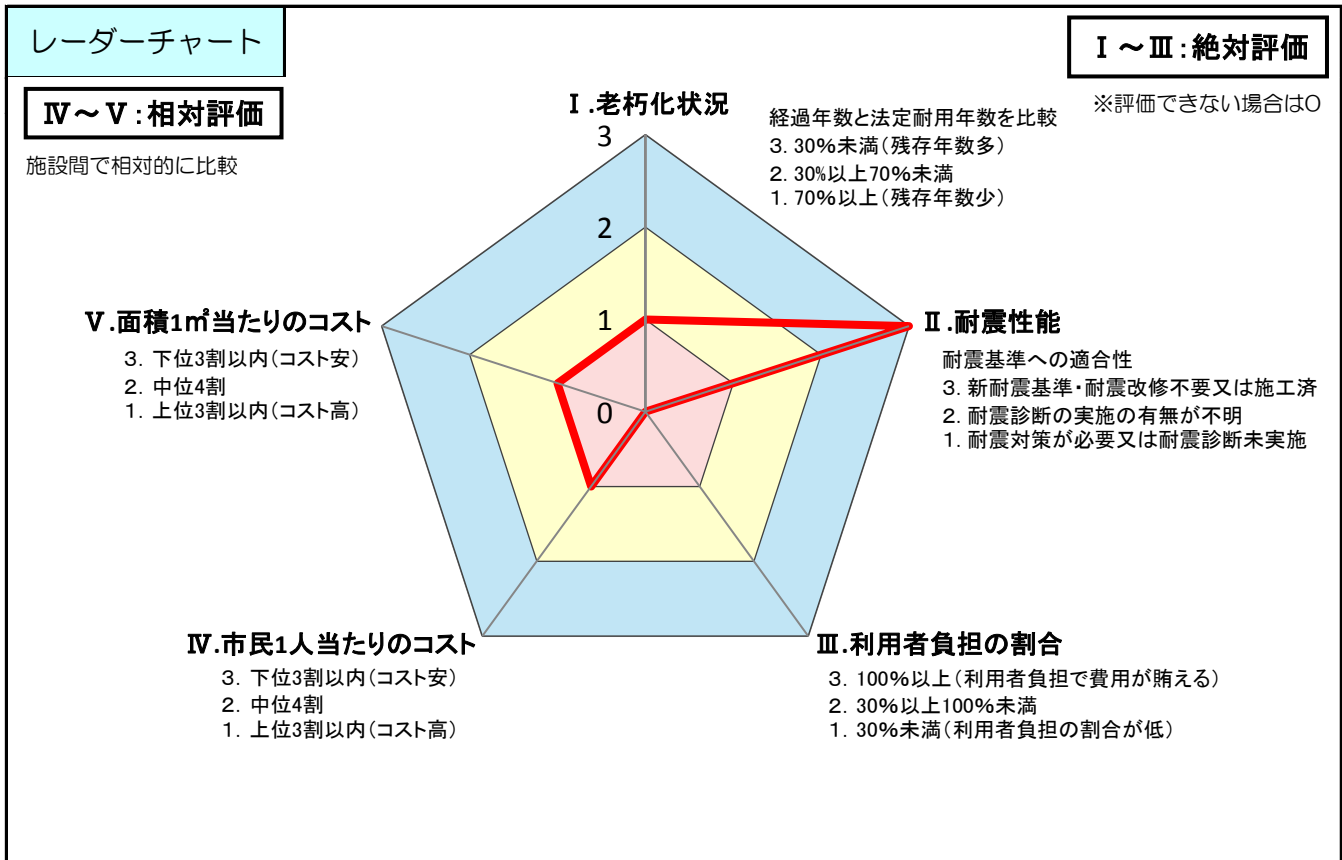
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H23	シャッター鍵交換	17			
H26	法面修繕	15			
H27	多目的広場修繕	32			
H28	テニスコート電球取替	40			
H29	パークゴルフ漏水修繕	98			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	133 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	246 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	82,697 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	